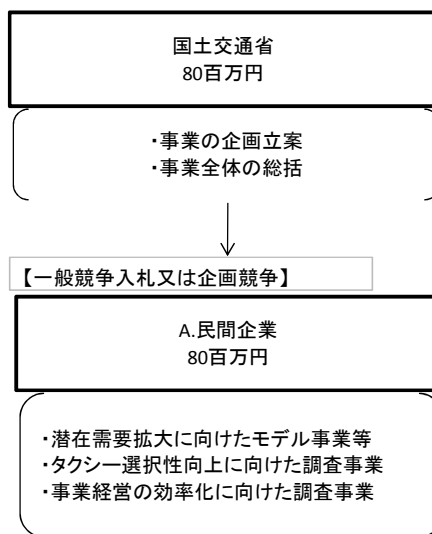


平成27年度行政事業レビューシート (国土交通省)									
事業名	タクシー事業の活性化支援			担当部局庁	自動車局			作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	旅客課			課長 鶴田 浩久	
会計区分	一般会計			政策・施策名	9市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 35自動車運送業の市場環境整備を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2015(平成27年6月30日閣議決定) 交通政策基本計画(平成27年2月13日閣議決定)				
主要政策・施策	女性活躍			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	タクシー事業の活性化に係る事業者・業界団体の取組を支援し、利用者ニーズに対応した多様なサービスの全国的普及、タクシー事業の人材確保・育成、事業経営の効率化を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	中小企業がほとんどのタクシー業界にあつては依然として厳しい経営環境が続いており、需要喚起や人材確保・育成に向けた投資を躊躇する事業者が多く、サービスの多様化等が実現されにくい。このため、事業者・業界団体による需要の掘り起こしや多様な人材の確保、経営資源の活用等、タクシー事業の基盤強化(生産性向上)に向けた取組へのインセンティブを付与するため、調査事業や実証実験等を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	0	80	
	執行額								
	執行率(%)		-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度	
	女性タクシー運転者数を増加させる。	女性タクシー運転者数	成果実績	人					
			目標値	人				14,000	
			達成度	%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度	
	タクシー車両におけるバリアフリー化を促進させる。	福祉タクシーの導入数 (ユニバーサルデザインタクシーを含む。)	成果実績						
			目標値					28,000	
			達成度	%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	調査事業等の実施件数	活動実績	件						
		当初見込み	件						
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	執行額/調査事業等の実施件数		単位当たりコスト						
			計算式	/					
平成27-28年度予算内 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	自動車運送業市場環境整備推進調査費	0	80						
	計	0	80						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	タクシー事業の公共交通機関としての役割、位置づけを鑑み、タクシーの機能を安定的に維持・供給するために必要な事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	先駆的事业に係る調査や実証実験等の結果を踏まえ、制度の創設等を行い、活性化の取組の全国的普及を進める必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	タクシー事業は需要の長期的な低迷等により、厳しい経営状況が継続しており、公共交通機関としての役割、位置づけを鑑み、タクシーの機能を安定的に維持・供給することが必要不可欠である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	需要の長期的な低迷等により、タクシー事業においては厳しい経営状況が続いている。タクシーは、地域交通を形成する重要な公共交通機関であり、タクシーの機能を安定的に維持・供給するためには国の支援が必要である。			
	改善の方向性				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
<p>経済財政運営と改革の基本方針2015に記載されている生産性向上のための人材育成、確保等を実施するため、また交通政策基本計画に記載されている生産性向上及び人材確保も含めた基盤強化方策の検討、女性の活躍推進等による交通事業の担い手の確保・育成を実施するために重要な事業であり、効果的な事業として効率的に執行できるよう努めるべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)